

1

「請求期限が迫っている、今なら間に合う」などと急がして、ATMでの受け取りを指示してきます。

2

金融機関店内のATMのほか、人気の少ないスーパーなどのATMへ誘導し、到着したら電話をして来るように求めてきます。



3

何らかの理由を言って口座の残高を聞き出す場合もあります。

4



個人番号として6桁程度の数字を入力するように指示してきますが、その数字が犯人の口座に送金したことになる被害額であり、口座預金がある限り、繰り返し手続きをするよう求められる場合もあります。